

485系

交直流特急型電車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- この商品の対象年齢は15才以上です。鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 鉄線の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- マグネットカプラー（連結器の部品）は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気や機能異常が起こる場合があります。

＜組み立てる時の注意＞

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季2-1-22 ☎277-8511 ☎04-7146-0371

(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072 ☎06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時

●電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

■動力ユニットの取り付け (Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

●KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

●KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを取り取ってからシャーシと交換・装着します。

●トレーラー車への台車取付

●動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

●床板に直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。

●機関車への動力ユニットの取り付け

●KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

●11-103は、購入時にはカプラーボックスの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

●お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

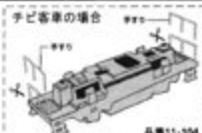
品番11-401 PS14: 直流パンタグラフ

品番11-403 PS22: 直流下枠交差形パンタグラフ

品番11-404, 11-420 PS16: 直流パンタグラフ

●ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
●トレーラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが深い(浅い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けください。



シャーシの組立

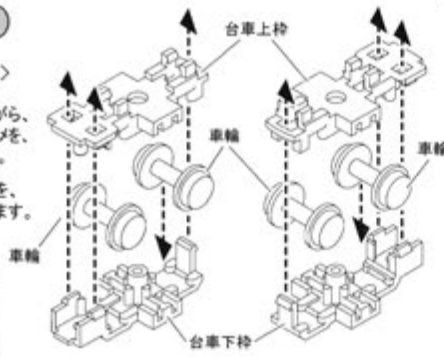
1 <台車の組立>

●車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。

●前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください



2 <シャーシの完成>



- 出来上がった台車を床板に取り付けます。
- 台車の4箇所のツメを床板に通します。

3 <カプラーと台車レリーフの取り付け>

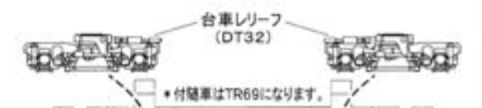
- カプラーと台車レリーフの取り付けは、先にシャーシを車体に取り付けてから、最後に取り付けの方が楽に作業できます。
- カプラーのマグネットには極性があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

実車の編成例

●時期によって、編成は変化していますのでご注意ください。

クハ485	モハ484	クハ481	3両編成 (クハ485はクハ481で代用) (かみしか、こまき ほか) ●多客時は2編成連結した6両編成で運用。						
クハ481	モハ485	モハ484	クハ481	4両編成 (RED EXPRESS ほか) ●九州地区の車両などは、モハ484の1/2台化が進んでいます。					
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	モハ484	クハ481	6両編成 (かがやき、さくらみき ほか)			
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	モハ484	クハ481	6両編成 (あいづライナー、どバあいづ、はつかり ほか)			
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	モハ484	モハ485	モハ484	クハ481	8両編成 (はつかり、はくたか ほか)	
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	モハ484	サロ481	モハ485	モハ484	クハ481	9両編成 (はくたか ほか)

台車レリーフの向きに注意。



●付随車はTR69になります。

カプラー(連結器)について。

ダミーカプラー (先頭車正面などに使用します。)

●連結はできません。

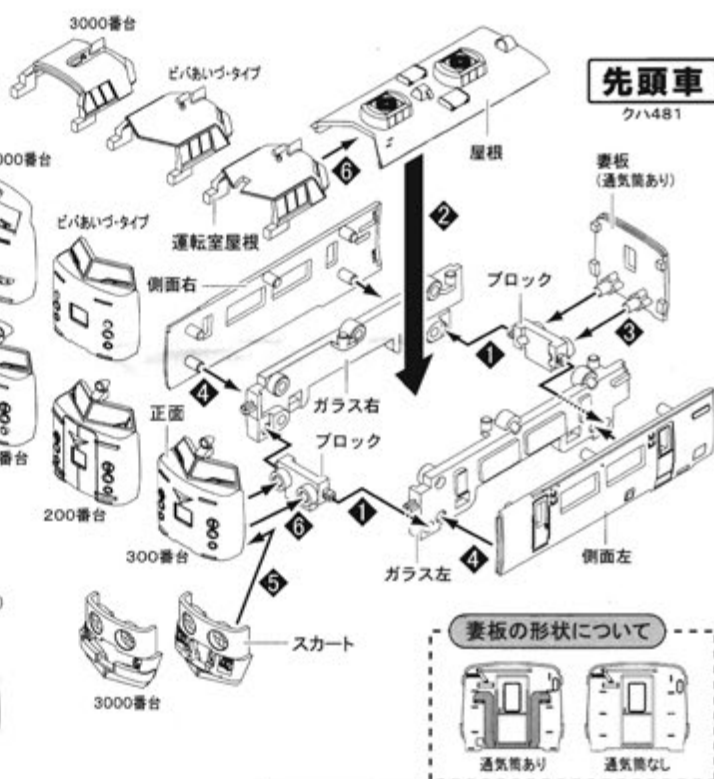
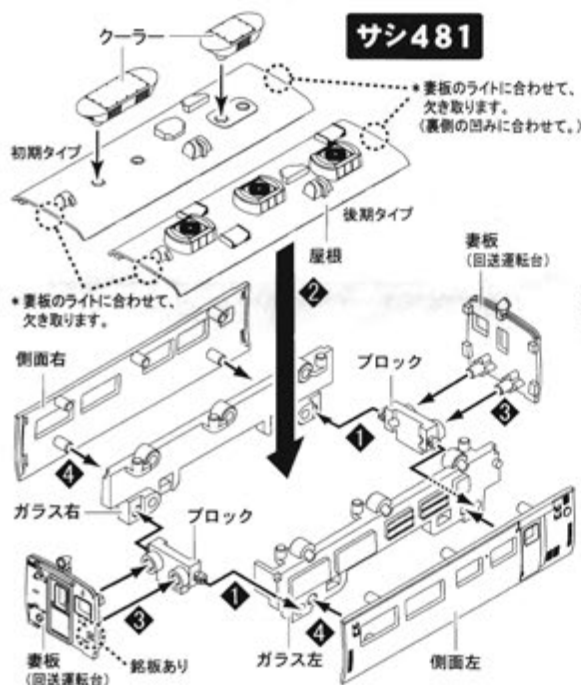
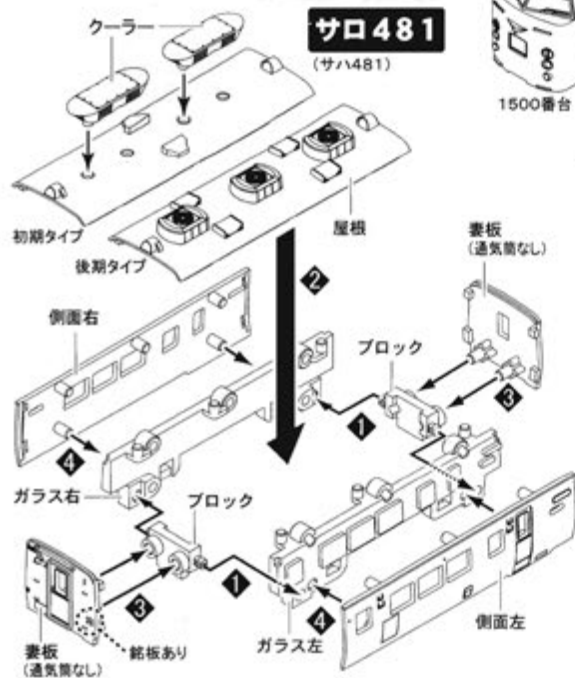
ドローバー (2両を固定連結する場合に使用します。)



車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
- ⑥前面を取り付けて完成です。
(組み立て前に前面の裏側にスカートを取り付けます。)

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

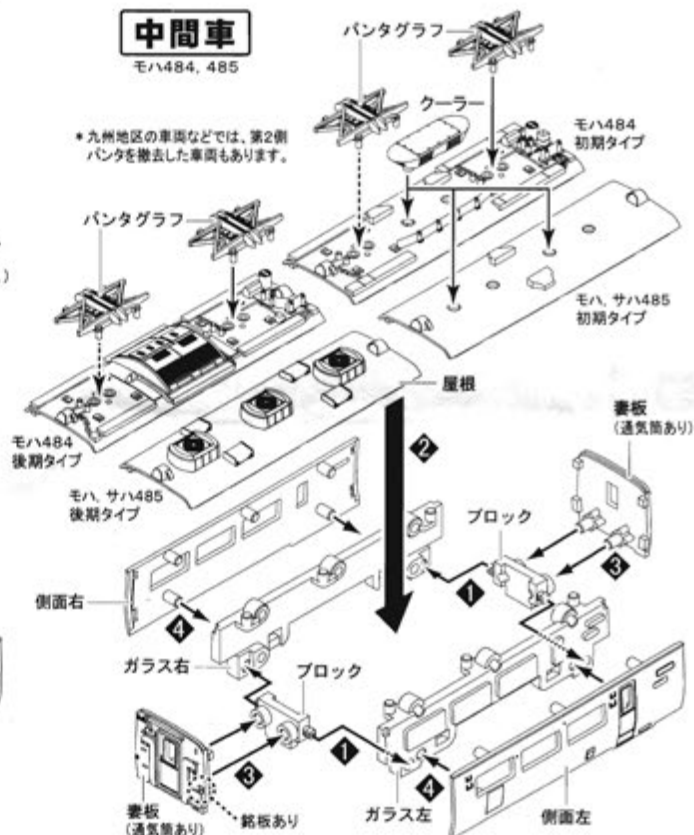


*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

中間車

モハ484, 485

*九州地区の車両などでは、第2側パンタを撤去した車両もあります。



485系

交直流特急型電車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- この商品の対象年齢は15才以上です。《鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。》
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- マグネットカプラー（連結器の部品）は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- 部品の加工の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

〈お買い上げのお客様へ〉 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季241-22 ☎277-8511
(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072
☎04-7146-0371
☎06-6375-5050

- 電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時
- 電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

■動力ユニットの取り付け (Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーンと交換・装着します。

品番11-105	通勤電車①: コイルパネ台車タイプ
品番11-106	急行電車①: 空気パネ台車タイプ
品番11-107	通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ
品番11-104	チビ客車用動力ユニット

- KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手ずりを切り取ってからシャーンと交換・装着します。

●トレーラー車への台車取付

- 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099	通勤電車①: コイルパネ台車タイプ
品番11-098	急行電車①: 空気パネ台車タイプ
品番11-097	通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

- 床板に直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。

●機関車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してシャーンと交換・装着します。

品番11-103	ポケットライン用動力ユニット
----------	----------------

- 11-103は、購入時にはカプラー-ポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

品番11-401	PS14: 直流パンタグラフ
品番11-403	PS22: 直流下枠変形パンタグラフ
品番11-404, 11-420	PS16: 直流パンタグラフ

- ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

※11-420は屋根穴が4個の屋根に対応します。

- 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
- トレーラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが違い(緩い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けください。

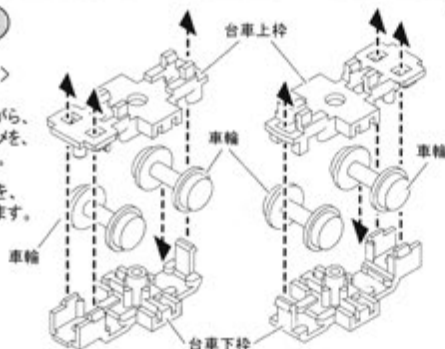
シャーンの組立

1 <台車の組立>

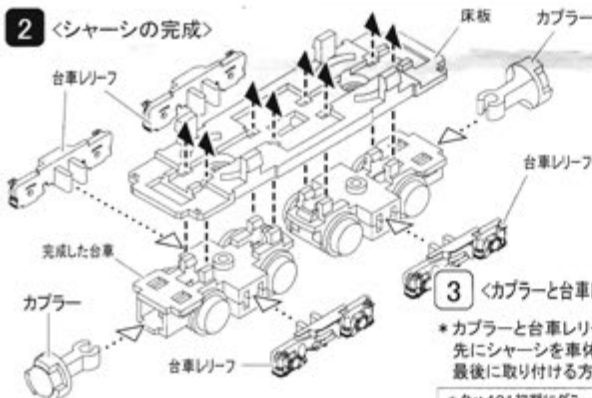
- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所ツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください



2 <シャーンの完成>



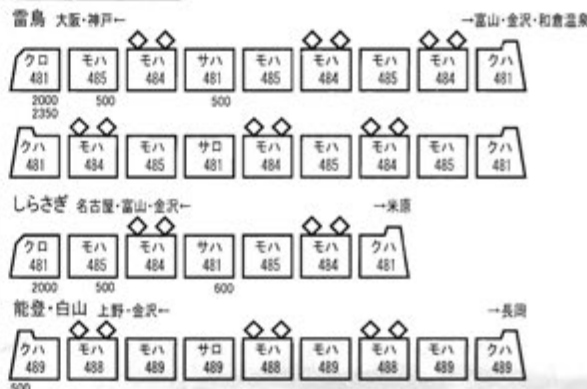
- 出来上がった台車を床板に取付けます。
- 台車の4箇所ツメを床板に通します。

3 <カプラーと台車レリーフの取り付け>

- カプラーと台車レリーフの取り付けは、先にシャーンを車体に取り付けてから、最後に取り付けの方が楽に作業できます。
- クハ481初期型にダミーカプラーを使う場合は、先にシャーンに取り付けてください。
- カプラーのマグネットには極性があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

実車の編成例

*時期によって、編成は変化していますのでご注意ください。



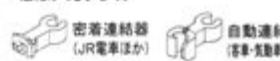
台車レリーフの向きに注意。



カプラー(連結器)について。

ダミーカプラー (先頭車正座などに使用します。)

- 連結はできません。



ドローバー (2両を固定連結する場合に使用します。)



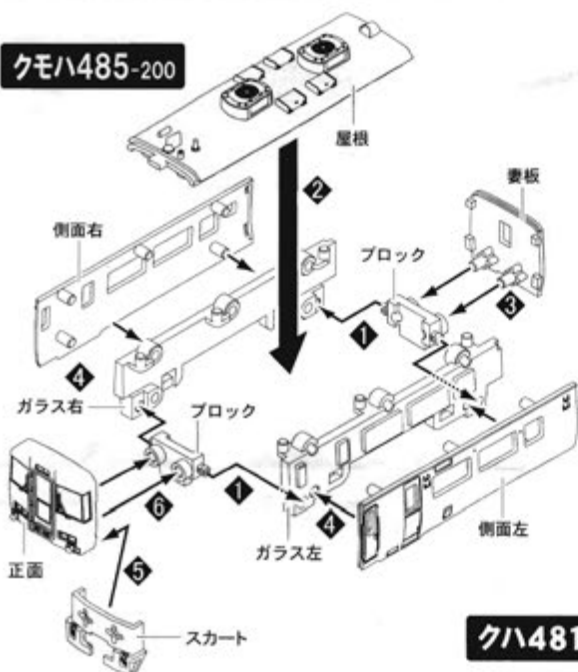
車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
- ⑥前面を取り付けて完成です。
(組み立て前に前面の裏側にスカートを取り付けます。)

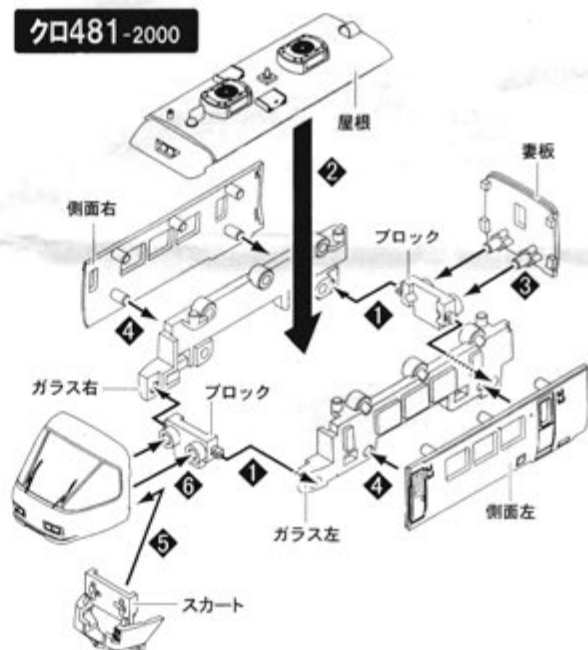
*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取扱に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

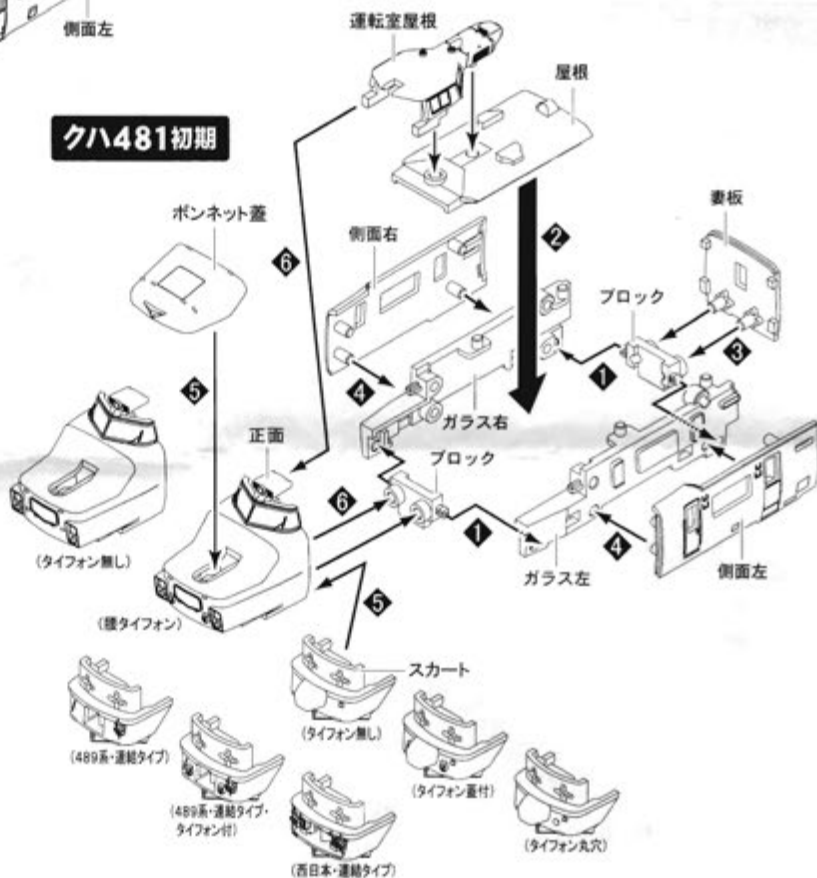
クモハ485-200



クハ481-2000



クハ481初期



スカートの取付け

- ①車体裾を避けて、スカートを斜めに押し込みます。
- ②しっかりと奥まで押し込んでから、スカートをひねります。
- ③車体裾とスカートが揃えば、取付けの完了です。

*ダミー連結器を使う場合は、取り付け腕の長いタイプを、あらかじめ、シャーシに取り付けておいてください。

